

会 報 ゆ う ほ ど う

平成30年5月号

【施設長就任のご挨拶】

谷口 裕子 先生

4月より施設長に就任しました。

今まで、歯科医師として歯科医療に従事してきました。一見畑違いのようですが、大きく見ると「自分の施設を選んでくれた 患者様、入居者様の生活の質をより良くしたい、という気持ちで携る仕事」という意味では同じではないかと思っています。

当園は理事長も施設長も歯科医師であり、そして同じく4月から常勤の歯科衛生士も配属されました。お口の健康が全身の健康に影響を及ぼすこと、口から食事することが精神を健康にし、認知症を予防できることは広く知られてきているところです。

そこで、私の今までの経験を活かし、施設全職種の職員と協力し、知恵を出し合って、入居様のより一層の健康増進に努めることから始めたいと思います。

それは勿論入居者様とご家族の幸せに直結しますし、介護をする職員の負担軽減に繋がると 생각합니다。

そして職員の負担軽減は、より良い介護サービスに繋がっていくと信じて努力しようと思います。

経営の面では、年々厳しくなる介護保険制度に適応し、入居者様と職員の生活を守れるような、優しく強い経営者を目指す所存です。

ご家族の皆様のご指導ご鞭撻をお願いして、ご挨拶と致します。

【口腔ケア】



歯科衛生士の長渡クミさんは、長年昭寿園前歯科から毎週派遣され、当園の入居者様の口腔ケア業務に従事、4月からは当園の専従専門職として配属されました。

長渡クミさんに抱負などをインタビューします。

Q1歯科衛生士のお仕事について教えてください。

口腔内は細菌が増殖しやすい条件が揃っているため感染症の原因になりやすい状態です。

口の中の細菌が、誤嚥（誤って飲み込むこと）されると誤嚥性肺炎など致命的な感染症を引き起こす原因になります。

そこで、入居者様の口の中の細菌を取り除いて清潔にすることが私の主な仕事です。

Q2高齢で要介護の入居者様への口腔ケアについて教えてください。

口腔ケアはQOL(生活の質)の向上のみならず誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、健康状態の維持・向上にもつながります。

Q3今後の取り組みについて抱負をお聞かせ下さい。

- 1 介護スタッフに対しての助言・指導を適切に行います。
- 2 安全で効果的な口腔清掃に取り組みます。
- 3 口腔ケアの用具の充実を図ります。

追伸 4月、歯科衛生士が入居者様に月2回口腔ケアを実施しました。口腔衛生管理加算を算定いたします。

【野外食で春満喫】



3月に入ると、2月の氷点下の時期が嘘のようにぽかぽか陽気となりました。

桜の花と芝桜が一斉開花、枯れるか心配した春の花々も勢いを増し、さながら美の競演の中、恒例のユニット単位の屋外食を4月1日から4月16日まで行いました。

日頃表情を出さないAさんは笑顔も出て会話が弾みました。来園者、スタッフも春満喫のひとつときでした。



【見守りセンサー導入】

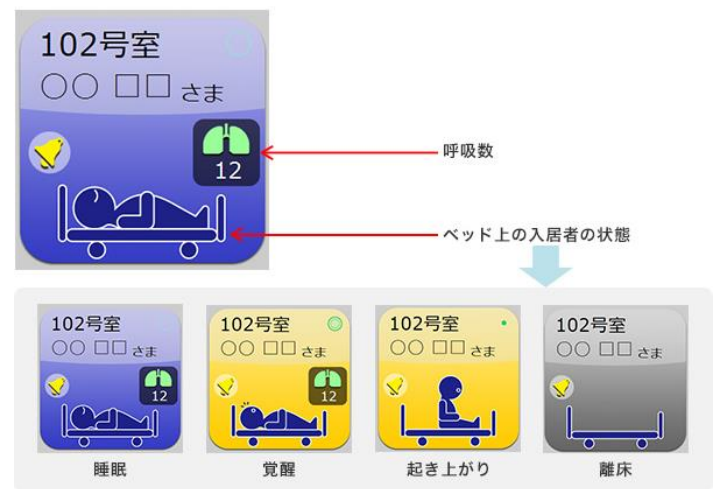
昨年、約1カ月間「見守りセンサー」の有効性のテストを実施。介護職員から導入希望の声を受け、平成30年度に予算立てしました。5月より、入居者の見守りを強化する一環として10台の見守りセンサーを導入します。期待効果については次のとおりです。

★入居者の状態を一覧表示「リアルタイムモニター機能」★

パソコンなどで、入居者の状態がリアルタイムに一覧表示されます。夜間の睡眠や覚醒状態を確認することで、スタッフは効率的に適宜必要なケアを提供することができます。



★生活状況の可視化による体調変化の早期発見★



●目が行き届く安心な見守り

居室での「睡眠・覚醒・起き上がり・離床」が分かるので、スタッフの少ない夜間も入居者の状況に合わせた介護・見守りが可能です。

●入居者様の生活や行動に合わせた介護

目が覚めているときに介護をすることで、介護の優先順位づけ、入居者の安全・安心、満足度の向上につながります。

●スタッフの労働環境の改善

居室での状況が可視化されることで、行動の変化が予測できるようになり、スタッフの精神的負担を減らせます。

【褥瘡予防対策】 エアーマッサージ メドマー導入

4月の介護報酬改正に伴い、褥瘡マネジメント加算が新設されました。
入居者様の褥瘡対策に関するケア計画書を作成し、3カ月毎に見直しを行います。

褥瘡(床ずれ)は持続的な圧迫によって発生します。
皮膚及び皮下組織の虚血性壊死(組織が死んでしまう事)で、
早期に発見し状況に応じた対策が重要です。

当園では褥瘡(床ずれ)の予防対策として・・・

- ★1

圧迫を弱める除圧寝具
(除圧マット、エアマット)、
クッション等を入居者様の
状況に応じて検討します。
- ★2

褥瘡(床ずれ)は栄養の状態と密接に関連しています。
そこで管理栄養士が評価を3カ月毎に行い、入居者様の状況
に応じて栄養補助食品等の提供を行います。
- ★3

高齢になると皮膚のバリア機能
が失われ、状態が弱くなります。
この状態では外部刺激を受けると褥瘡(床ずれ)になり
やすく、保湿・保温や皮膚の保護が必要です。
そこで、**スキンケア**を行います。
(毎日の皮膚の観察、皮膚の保護、局所ケア(おむつ交換時毎に陰部洗浄、清拭等)



- ★4

リハビリテーション
当園の理学療法士・作業療法士が徒手マッサージ、ポジショ
ニング、ROM訓練、立ち上がり訓練（プッシュアップ）を行
います。

効果として次の点があります。

- ◆身体を安定させ保持すること
- ◆筋緊張の緩和、血液・リンパ流の改善
- ◆関節可動域の改善、疼痛の改善
- ◆精神的ストレスの軽減

エアーマッサージ メドマー

空気圧でマッサージをして
リンパの流れや、**血液循環**を良くし、
筋肉疲労回復・むくみ改善の効果があります。



【感染症報告】

内訳	インフル エン ザ	感染性 胃腸炎	マイコ プラズマ等	家族感染も 本人はなし	罹患率	全職種 総人数
介護職員自身が感染	5名	0名	0名	—	0.06%	78名
看護職員自身が感染	0名	0名	0名	—	0.00%	12名
給食職員自身が感染	0名	0名	0名	—	0.00%	22名
事務等職員自身が感染	1名	0名	0名	—	0.05%	19名
介護職員の家族が感染	13名	0名	0名	0名	0.00%	
看護職員の家族が感染	1名	0名	0名	0名	0.00%	
給食職員の家族が感染	2名	0名	0名	0名	0.00%	
事務等職員の家族が感染	2名	0名	0名	0名	0.00%	

昨年の11月下旬頃からインフルエンザ流行し始めました。
当法人は恒例の忘年会を中止し感染症対策を開始。
ゆうほう3月号で報告した入居者のインフエンザ感染者1名の
みで、その後は新たな感染者はありませんでした。
職員についても、自己健康管理に努め一昨年度より感染者数が
大幅減少に繋がりました。

【社会貢献】



昨年度、当法人は社会貢献の一環で、日南市在住で生活に困
っている方、収入が少ない方に対して**無料で中古介護ベッドを貸
出する事業**を立ち上げました。

昨年11月、今年1月に日南市社会福祉協議会様の「社協だより」
に掲載をして頂いたことが功を奏して、今年4月に2件の申し込
みがあり、早速当園からご自宅にお届けしました。

又「株式会社カクイックス」様協賛の元、ベッド用マットが必要
な場合でも、「消毒済みマット」を無料で提供しています。
中古ベッドの消毒方法についてもアドバイスを受けています。

数日が過ぎ「3モーターのベッドになり、快適に利用している」
との声が当園に寄せられています。
ご家族の皆様におかれましても、ご紹介頂ければ、すぐに対応
しますので宜しくお願い致します。

【香りのプレゼント】



2月の寒いある日、退所されたご
家族の日高さんが来園。

「蠟梅の苗木」を届けて下さい
ました。「入居者さんの鑑賞用
に育てて欲しい」との依頼を受
け、桜の横に植樹しました。

ネットで調べると次のような説
明がありました。

ロウバイはまるでロウ細工のよ
うな黄色い花を咲かせる、中国
原産の落葉低木です。

「雪中の四花」として尊ばれて
います。江戸時代初期に日本へ渡来し、ほかの花木に先駆けて
咲く香りのよい花が愛され、生け花や茶花、庭木として利用さ
れてきました。

4月になって若葉が生き生きと芽吹きました。
来春には花をつけるかどうかが楽しみです。
日高さんの心づかいに感謝します。
「ありがとうございました。」

